

動物観研究会公開ゼミ 2024 プログラム

- 10:25-10:30 開会あいさつ 亀山 章
- 10:30-11:00 「昆虫採集の導入が日本の昆虫文化に与えた影響とカブトムシブームの背景」
奥山友太、佐渡友陽一（帝京科学大学）
- 11:00-11:30 「浅草寺日記からみる近世における動物見世物興行の実施形態」
坂本響子（総合研究大学院大学）
- 11:30-12:00 「1950～70年代の日本における動物実験へ働きかけた社会運動の歴史」
春藤献一（国際日本文化研究センター）
- 12:00-13:00 昼食休憩
- 13:00-13:30 「遊び手 player はいるが観客 audience はいない～ヒトと動物における
「遊びの社会性」」 島田将喜（帝京科学大学）
- 13:30-14:00 「映像作品や芸術作品の構成素材としての野生動物」
並木美砂子（帝京科学大学）
- 14:00-14:30 「動物処分の容認と拒否」 河原真衣（桜美林大学大学院）
石田戡（動物観研究所）
- 14:30-14:45 休憩
- 特別テーマ 「動物を殺すとき」**
- 14:45-15:15 「日本法に表れた動物観 — 「動物を殺すとき」に関する法律上の表現を
手掛かりにして —」 吉田聡宗（一橋大学社会科学高等研究院）
- 15:15-15:45 「動物の命との関係性を再考する：畜産における生産・と畜・殺処分現場
からの視点」 寺内宏光「寺内動物病院」
- 15:45-16:15 「日本の歴史が育んだ動物を殺すことへの不寛容と今日的意義」
佐渡友陽一（帝京科学大）
- 16:15-17:30 総合討論 司会 石田戡（動物観研究所）
- 17:30 閉会

2024年12月1日(日)10:25-17:30

場所:東京農工大学農学部・第一講義棟 2階25号教室

アクセス:JR中央線 国分寺駅南口より府中駅行バス晴見町下車

京王線府中駅より国分寺駅南口行バス晴見町

入場料:無料